

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
27-106	高等学校	外国語	英語表現 I	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
15 三省堂	英 I 325	SELECT English Expression I New Edition		

1. 編修の趣旨及び留意点

本教科書は、「話す」「書く」を中心とした基礎的・基本的な知識・技能の習得とともに、聞いたり、読んだりして得た知識や情報などを、「話すこと」や「書くこと」を通じて発信できるような思考力・判断力・表現力を身につけられることを目標に編集した。そして、次の3点を教育理念とした。

- 1) 「ことばの教育」に資する…コミュニケーションのための知識・技能の習得とともに、論理的思考力や批判的思考力を養い、豊かな言語観を育成する。
- 2) 「国際理解教育」に資する…ますます複雑化する国際社会の中で、比較文化の視点に立ち、海外におけるさまざまな民族に対して目を向けさせ、人類としての共通性だけではなく、地域や民族の個性も同時に尊重し合う、豊かな文化観と真の国際理解の基礎を培う。
- 3) 「人間教育」に資する…今日のグローバル社会に生きる子どもたちに、特に話したり書いたりすることを通して、人間としての生き方やものの見方や考え方、ならびに世界観にも目を向けさせ、社会の中で自らの力で考え、判断し、表現できる力を培う。

2. 編修の基本方針

教育基本法に掲げる目標を達成するために、次の5点を編修の基本方針とした。

- 1) 4技能における特に「話す」「書く」活動を通して、ことばと人間との関係やことばと社会との関係など広くことばへの関心を高め、より豊かな言語観を育てる。
- 2) ことば、文化、民族などの多様性とその共存を国際理解の基本理念とし、国際感覚と国際協調の精神の育成を図る。
- 3) 特に「話す」「書く」活動の上で必要な、言語能力の本質としての思考力の養成を土台として、英語の基礎的な知識や技能の習得、コミュニケーション能力の養成を図る。
- 4) 実際のコミュニケーションにおいて、生徒の興味・関心を喚起する話題やテーマを提示すると共に、「言語の使用場面」の明確化と「言語の働き」に留意しながら、創造的な言語活動を目指す。
- 5) 特に中学で履修した「話す」「書く」ための基礎的な能力を更に伸長させながら、4技能における言語活動の統合的な関連を図る。

3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
題材（テーマ）と内容	①各課で取り扱う題材（テーマ）は、高校生の知的欲求に合致し、幅広く興味・関心を高めるものを選択し、「生きる力」を育成するに資するテーマを配置した。（第1号）	各本課LESSON 1～18 各Speaking Station 1～5 各Daily Conversation 1～3
	②キャリア教育（第2号）、平和教育（第5号）、科学教育・環境教育（第4号）、健康および生命の尊重（第4号）、社会への参画および正義と責任（第3号）、さらに国際理解教育に結びつくものとして、わが国の伝統文化や他国の文化を扱ったもの（第5号）を配置した。	<p>自分の将来について考える（第2号） Speaking Station 2, 5</p> <p>平和教育（第5号） LESSON 8, 10, 17</p> <p>科学教育・環境教育（第4号） LESSON 7, 11, 17</p> <p>健康および生命の尊重（第4号） LESSON 3, 9</p> <p>社会への参画および正義と責任（第3号） LESSON 3, 8, 10, 14, 15, 17 Speaking Station 3</p> <p>伝統・文化（第5号） LESSON 5, 6, 12 Speaking Station 1, 4</p> <p>他国の文化, 国際理解（第5号） LESSON 1, 2, 4, 13, 16, 18</p>
言語活動	①各課末の言語活動は、取り組む生徒の個性、創造性が発揮されるようにした。（第2号）	各本課 LESSON の Speak Up! / Speaking Station の Short Speech
	②ペアやグループなどの形態を重視し、生徒同士が協力して活動に取り組めるように配慮した。（第3号）	各本課 LESSON の Speak Up! / 各Speaking Stationの Short Speech / 各 Daily Conversation
登場人物	主な登場人物の配置および活動においては、男女・出身地域の偏りがないように配慮した。（第3号、第5号）	各本課 LESSON / 各Speaking Station / 各Daily Conversation
構成	教科書の使い方、学ぶ目標、学ぶプロセス、学ぶポイント、などが生徒たちにわかりやすく提示され、学ぶ意欲を喚起し、自ら学ぶ力が育成されるように配慮した。（第2号）	もくじ / 本書の使い方 / 各 LESSON / Gトレプラス / つなぎ言葉 / Let's Start / 文法のまとめ / 付録「辞書の使い方」など

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

①構成について

- 1) 自分の考えを論理的に発信することができ、また国際理解の観点からも、他の国の人と積極的にコミュニケーションを交わすことができる態度が養えるように、トピックや活動の面で配慮した。
- 2) 人間のもっている豊かな心を意識しつつ、幅広い観点からものごとを考え、コミュニケーションすることができるようなトピックを配置した。

②すべての生徒が学習しやすい紙面づくり

カラーユニバーサルデザインの見地より、識別しにくい配色は避け、また、形や記号・番号、説明文などの補助的な手がかりを設けた。読みやすいフォントやアイコンの使用などの補助的な手がかりを設け、また、色の濃淡や罫線などの工夫を凝らすことで、だれもが使いやすい教科書となるよう配慮した。

③環境にやさしい教科書づくり

用紙については、環境の保護、資源の節約のため、原料や製法に配慮した環境にやさしい紙を使用した。インキについては、植物由来の油および、それらを主体とする廃食用油等をリサイクルした再生油を含んだ印刷インキ工業連合会認定の植物油インキを使用した。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
27-106	高等学校	外国語	英語表現 I	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
15 三省堂	英 I 325	SELECT English Expression I New Edition		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

学習指導要領の総則に示された教育の方針や高等学校外国語科の教科目標「外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う」、および本書の教育理念に基づき、教科書の構成・配列と各領域などの系統・内容に関して以下のことに特に意を用いた。

A. 基本方針

1. 中学校の外国語科(英語)の内容を踏まえて、中・高の接続が円滑に図られるように配慮する。
2. 「話すこと」「書くこと」を中心とした4技能のバランスを考慮するとともに、特に論理的に表現する能力が育成できるように構成、内容を工夫する。
3. 教科書の使い方、学ぶ目標、学ぶプロセス、学ぶポイントなどが、生徒たちにわかりやすく提示され、学ぶ意欲を喚起し、自ら学ぶ力が育成されるように配慮する。
4. 基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得し、およびそれらの知識や技能を実生活の中で活用できる力を、繰り返し、段階的に育成できるような教科書構成にする。
5. 「聞くこと」や「読むこと」を通じて得た情報などを基にして、様々な場面に応じて適切に話すことや書くことができるようにし、あわせて論理的思考力や批判的思考力が養えるような配慮をする。また、そうしたコミュニケーション活動や体験を通して、他を受け入れ、個人の価値を尊重することのできる豊かな心を育成し、自分の考えや自分たちの文化を外に発信していける力を培える内容にする。
6. 学んだ内容の深化・発展に弾力的に取り組めるように、設問や活動などを工夫、充実させる。

B. 本書の特色と編集上の留意点

1. カリキュラムと分量

教材の精選をはかり、カリキュラムにゆとりをもたせた。

2. 題材内容

- ①「話すこと」「書くこと」のためのテーマとして、ことばの教育、国際理解教育(異文化理解教育)、人間教育の観点の基本とし、これらの領域で生徒の知性や感性を考慮して、興味を喚起する内容にした。
- ②テーマは、日常生活・学校生活、日本の伝統文化・技術、言語、地球環境問題、科学や芸術、スポーツ、歴史や人物、国際協力、人間としての生き方など多様な内容にした。なお、「話す」「書く」ための形式は、会話、スピーチ原稿作成を基本とした。
- ③テーマの設定や登場人物は、英語が広く使われている現状と国際理解との関係から日本人を中心とした英語話者にし、特に高校生が実際に「話す」「書く」という状況を重視して、より現実と遊離しない状況を

設定した。

3. 言語材料の扱い

- ①言語材料は、「話す」「書く」活動をする上で、活発で多様な言語活動が展開できるように配慮した。
- ②「文構造」「文法事項」は表現活動に活用することを基本として精選し、「話す」「書く」上で必要と思われる基本的な事項を扱った。
- ③本書の導入部として Let's Start を設け、中学校における基本項目の確認とし、本課に負担なく移行ができるように配慮した。
- ④「語」は、コミュニケーション英語 I 程度の範囲で、表現活動に必要と思われる語彙・連語を精選して取り上げた。

4. 言語活動

言語活動は、「話す」「書く」必然性を重視し、「言語の使用場面」を具体的に提示すると共に、4技能の統合的な関連が図れるように、各 LESSON の導入部のイントロ英会話、各 Speaking Station の Input, My Opinion 及び Short Speech など、形式を工夫した。また、「言語の働き」にも留意し、「話す」「書く」上で多用される表現についても、中学校までの学習を踏まえながら基本的なものを精選し、系統的に扱った。

C. 本書の構成と内容

▶1. 全体の構成

- ① 全体構成は、本課 LESSON (1~18) と Speaking Station (1~5)を中心とした。各練習は、「話す」「書く」技能を中心として、その習得を目指す教材としつつ、4技能の言語活動が総合的・統合的に行われるように配慮した。
- ②各 LESSON では、学校生活、スポーツ、環境問題など身近なテーマの中で自分のことに置き換えて、即興で話したり、簡潔な文章を書いたりする練習をする。
- ③各 Speaking Station では、スピーチなどの実際の場面を想定し、「ヒント」や「発表のために必要な表現」などを使って、「話す」「書く」練習をする。

▶2. 各本課 LESSON の構成と内容

- ①イントロ英会話： 会話の中で、ターゲットとなる文法を使用した表現を学習。
- ②セレクト英文法 36： 「イントロ英会話」で使用された文法の理解を深めるために、1~36のキーセンテンスとイラストを提示。
- ③プラス α： 「セレクト英文法 36」のキーセンテンスで扱った以外の文法項目を提示。
- ④瞬間チェック： 「セレクト英文法 36」で学習したことを確認する問題。
- ⑤Let's Listen： 写真を見ながらおこなうリスニング問題。
- ⑥G トレーニング： 各レッスンの文法・テーマに沿った問題文で学習。
- ⑦場面で Go!： ネイティブ感覚の英語表現を学習。
- ⑧Speak up!： 会話形式で、自分のことを英語で表現。toolbox は表現例として提示。
- ⑨英語で何と言う?： 各レッスンの文法を使用し、言えそうで言えない英語表現を紹介。
- ⑩なるほど☆ワード： レッソンのテーマに沿った豆知識を紹介。

▶3. 各 Speaking Station の構成と内容

- ①Warm Up： 知っていることや自分の価値観などをチェックするレッスンの導入。
- ②Input： 情報をリスニング、リーディングの形式で提示。

- ③My Opinion: Input を参考に, 自分の考えを書いてまとめる。
- ④ヒント: My Opinion をまとめるための表現例。
- ⑤発表に必要な表現: Short Speech で使用できる英語表現を提示。
- ⑥Short Speech: 自分の意見をInputや My Opinion を参考にまとめて発表。
- ⑦発表のコツ: スピーチのための音声指導。

▶4. 上記以外の構成と内容

- ①Let's Start: 中学校で学習した基礎・基本のまとめ。
- ②つなぎ言葉ランキング: 豊かな英語表現のために, よく使う「つなぎ言葉」を1~10位まで提示。
- ③Daily Conversation: 「買い物」「レストラン」「道案内」の特有な場面でよく使われる英語表現を学習。
- ④Gトレプラス: 各 LESSON にある「Gトレーニング」のプラスアルファとしての問題文。
- ⑤文法のまとめ: 各 LESSON を通じて学んだ文法項目を, 高校生が日常生活でよく使う表現として提示。

▶5. 各 LESSON に「toolbox」, 及び巻末に「表現語彙集」を設け, 生徒が, テーマに即したより多くの語彙や表現を使用することができるように配慮した。

▶6. 巻末には「表現語彙集」の他, 「変化形のつくり方」「いろいろな疑問詞」「辞書の使い方」「ローマ字表」「Email の書き方」「単位と数の表現」「句読法」「不規則動詞活用表」を設け, 学習上の配慮とした。

2. 対照表

	図書の構成・内容 (■=本課 LESSON など ●=課間 ◎=付録)	学習指導要領の内容
言語活動	■各本課 LESSON の Speak Up! 様々なテーマについて即興で話す。 ●各 Speaking Station の Short Speech ●各 Daily Conversation 聞き手や目的に応じて簡潔に話す。	第2款 第5 2 (1) ア
	■各本課 LESSON の Speak Up! ●各 Speaking Station の My Opinion および Short Speech 読み手や目的に応じて, 簡潔に書く。	第2款 第5 2 (1) イ
	●各 Speaking Station の Input, My Opinion および Short Speech 聞いたり読んだりしたこと, 学んだことや経験したことに基づき, 情報や考えなどをまとめ, 発表する。	第2款 第5 2 (1) ウ
言語活動の配慮事項	■各本課 LESSON のイントロ英会話, Speak Up! ●各 Speaking Station の Short Speech および「発表のコツ」 ●各 Daily Conversation リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴, 話す速度, 声の大きさなどに注意しながら話す。	第2款 第5 2 (2) ア
	●各 Speaking Station の My Opinion, Short Speech ●つなぎ言葉ランキング 内容の要点を示す語句や文, つながりを示す語句などに注意しながら書く。また, 書いた内容を読み返す。	第2款 第5 2 (2) イ
	●各 Speaking Station 「発表に必要な表現」, Short Speech, および「発表のコツ」 発表の仕方や発表のために必要な表現などを学習し, 実際に活用する。	第2款 第5 2 (2) ウ
	●Speaking Station 5 聞いたり読んだりした内容について, そこに示されている意見を他の意見と比較して共通点や相違点を整理したり, 自分の考えをまとめたりする。	第2款 第5 2 (2) エ

言語活動の取扱い	<p>■各本課 LESSON ●各 Speaking Station ●各 Daily Conversation 当該の言語材料が効果的に使われるように配慮して、それらの定着を図るとともに、言語の使用場面や言語の働きを明確に提示し、場面に応じた表現の練習が各単元で取り扱うことができるよう適切に配置した。(→別記：カリキュラム表参照)</p> <p>さらに、さまざまな学習形態の言語活動を配置し、多彩な授業展開ができるように配慮した。また、「聞くこと」および「読むこと」も有機的に関連づけた活動を行うことにより、「話すこと」や「書くこと」の指導の効果を高められるよう工夫した。</p>	<p>第2款 第5 3 (1) 第2款 第5 3 (2) 第2款 第5 3 (3) 第3款 1 第3款 3イ 第3款 4 第4款 2 (1) ア・イ・ウ・エ 第4款 2 (4)</p>
音声	<p>●各 Speaking Station の「発表のコツ」 音声指導の補助となる表記の記載に配慮した。</p>	<p>第4款 2 (2)</p>
単語・表現	<p>■各本課 LESSON ●各 Speaking Station ●各 Daily Conversation ●各つなぎ言葉 現代の標準的な英語により、LESSON のテーマに沿った運用度の高い語彙、慣用表現、例文を提示した。</p> <p>■各本課 LESSON の傍注欄 本書において比較的難易度の高い語や固有名詞については傍注に提示した。</p> <p>■各本課 LESSON の toolbox ◎巻末「表現語彙集」 テーマに沿ってより多くの語彙や表現を使用することができるように配慮した。</p>	<p>第3款 2ア (ア) 第3款 2ア (イ) 第3款 3ア</p>
文法	<p>◎Starter 中学校で学んだ基礎的な文法事項をふり返る。</p> <p>■各本課 LESSON ●各 Speaking Station 文法事項などの取り扱いについては、コミュニケーションを支える要素として、言語活動と効果的に関連づけて指導し、実際に活用できるように配慮した。</p> <p>◎文法のまとめ 各 LESSON を通じて学んだ文法項目を、高校生が日常生活でよく使う表現として提示した。</p>	<p>第3款 2イ・ウ 第3款 3イ・ウ 第2款 第5 3 (3)</p>
題材	<p>■各本課 LESSON ●各 Speaking Station ●各 Daily Conversation 本文や言語活動においては、生徒の発達段階および興味・関心に即した題材(テーマ)を配置し、実際の言語の使用場面や言語の働きに配慮した。</p> <p>各課のテーマには、日常生活・学校生活、日本の伝統文化・技術、言語、地球環境問題、自然科学や芸術、スポーツ、歴史や人物、国際協力、生き方などをバランスよく配置した。「話す」「書く」ための形式は、会話、スピーチ原稿作成を基本とした。また、登場人物の出身国およびテーマは、日本、英語圏、その他の国をバランスよく配置した。</p>	<p>第4款 2 (1) ア・イ・ウ・エ</p>
中高接続	<p>◎Starter ◎巻末 中学校で学んだ品詞、動詞、文構造、辞書の引き方などをふり返り、話したり書いたりする言語活動を中心に、情報や考えなどを伝える能力の向上を図れるよう高等学校の英語学習内容への橋渡しをする。</p> <p>■各本課 LESSON ●各 Speaking Station ●各 Daily Conversation 「聞くこと」および「読むこと」を有機的に関連づけた活動を行うことにより、「話すこと」および「書くこと」の指導の効果を高める。</p> <p>■各本課 LESSON ●各 G トレプラス ●各つなぎ言葉ランキング ◎文法のまとめ 生徒の実態に応じて、多様な場面における言語活動を経験させながら、学習内容を繰り返して指導し定着を図るよう配慮した。</p>	<p>第2款 第5 3 (1) 第2款 第5 3 (2) 第2款 第5 3 (3)</p>
自立学習	<p>◎CONTENTS ◎本書の使い方 学習内容(題材、文法事項)を一目で捉えられるように提示し、計画的な学習を促す。</p> <p>◎文法のまとめ 各 LESSON を通じて学んだ文法項目を、高校生が日常生活でよく使う表現として提示した。</p> <p>◎付録 辞書の活用の指導などを通じ、生涯にわたって、自ら外国語を学び、使おうとする積極的な態度を育てようとする。</p>	<p>第4款 2 (3)</p>

(別記) カリキュラム表

課	タイトル	英語言語材料	言語活動	言語の使用場面	配当 時間
				言語の働き	
Let's Start		アルファベット、品詞、語順	読む、書く		[3]
Lesson 1	自己紹介ーあいさつ	現在形:be動詞 / 一般動詞	話す、書く、聞く、読む	スピーチ、学校生活 紹介する	2
Lesson 2	宇宙で食事ー世界の食文化	過去形:be動詞 / 一般動詞	話す、書く、聞く、読む	会話 説明する	2
Lesson 3	世界へ羽ばたけ！ースポーツ	進行形:現在進行形 / 過去進行形	話す、書く、聞く、読む	会話 説明する	2
Lesson 4	エーゲ海の島へー旅行	未来表現:will / be going to	話す、書く、聞く、読む	会話 説明する	2
GTレプラス	① Lesson1→4	現在形、過去形、進行形、未来表現	読む、書く		0.5
つなぎ言葉	第1回	and	読む	説明する	0.5
Speaking	史上最大の発明は？		読む、書く、話す	スピーチ	2
Station 1	The Greatest Invention			発表の始め、理由を述べる	
Daily	1「買い物」をするときの表現		聞く、話す	買い物	1
Conversation	Can I try it on?			質問をする、相づちを打つ、褒める	
Lesson 5	アイドルー芸能	現在完了形①:継続 / 経験	話す、書く、聞く、読む	会話 説明する	2
Lesson 6	祭りだ！祭りだ！ー日本文化	現在完了形②:完了 / 現在完了進行形	話す、書く、聞く、読む	会話 説明する	2
Lesson 7	未来のエネルギーー環境	助動詞①:can / may	話す、書く、聞く、読む	会話 説明する、許可する	2
Lesson 8	世界平和のためにー国際社会	助動詞②:must / have to / should	話す、書く、聞く、読む	会話 説明する、主張する、助言する	2
GTレプラス	② Lesson5→8	現在完了形、助動詞	読む、書く		0.5
つなぎ言葉	第2回	that / but	読む	説明する、強調する	0.5
Speaking	目指せプロフェッショナル！		読む、書く、話す	スピーチ、情報を読みとる、社会生活	2
Station 2	Job Search			順序を述べる、お礼の言い方	
Daily	2「レストラン」での表現		聞く、話す	レストラン	1
Conversation	I'll have it.			質問する、相づちを打つ	
Lesson 9	沖縄美ら海水族館ー生き物	不定詞①:副詞的用法 / 名詞的用法	話す、書く、聞く、読む	会話 説明する	2
Lesson 10	未来を切り拓くー生き方	不定詞②:形容詞的用法 / It ~ (for ~) to...	話す、書く、聞く、読む	会話 説明する	2
Lesson 11	はやぶさ2の挑戦ー自然科学	動名詞	話す、書く、聞く、読む	会話 説明する	2
Lesson 12	不思議な絵ー芸能	受動態	話す、書く、聞く、読む	会話 説明する、驚く	2
GTレプラス	③ Lesson9→12	不定詞、動名詞、受動態	読む、書く		0.5
つなぎ言葉	第3回	or / as	読む	言い換える、説明する	0.5
Speaking	どこが違う？		聞く、読む	スピーチ	2
Station 3	Finding the Differences			位置を表す、描写する	
Daily	3「道案内」の表現		聞く、話す	道案内	1
Conversation	Where is the bus stop?			質問する、命令する、相づちを打つ	
Lesson 13	ヒエログリフー外国語・ことば	分詞:現在分詞 / 過去分詞	話す、書く、聞く、読む	会話 説明する	2
Lesson 14	私たちの街にガオーーご当地	関係代名詞①:that / who / which	話す、書く、聞く、読む	会話、地域社会 説明する	2
Lesson 15	書道甲子園ー活躍する高校生	関係代名詞②:what 関係副詞:where / when / why	話す、書く、聞く、読む	会話、学校生活 説明する	2
Lesson 16	どれが一番？ー地理	比較:比較級 / 最上級	話す、書く、聞く、読む	会話 説明する	2
GTレプラス	④ Lesson13→16	分詞、関係代名詞、関係副詞、比較	読む、書く		0.5
つなぎ言葉	第4回	if / than	読む	仮定する、比較する	0.5
Speaking	日本文化をPR！		聞く、書く、話す	スピーチ	2
Station 4	Show & Tell			注意を引く、説明する	
Lesson 17	限りある水ー国際協力	知覚動詞 / 使役動詞	話す、書く、聞く、読む	会話 説明する	2
Lesson 18	ピサの斜塔ー世界遺産	仮定法過去:If ~ / I wish ~	話す、書く、聞く、読む	会話 説明する、仮定する	2
GTレプラス	⑤ Lesson17→18	知覚動詞・使役動詞、仮定法過去	読む、書く		0.5
つなぎ言葉	第5回	when / because / so	読む	説明する、理由を述べる	0.5
Speaking	結婚するなら?!		聞く、書く、話す	スピーチ	2
Station 5	The Ideal Person			自分の考えを述べる、結論を言う	
文法のまとめ					
【付録】 1.表現語彙集 2.変化形のつくり方 3.いろいろな疑問詞 4.辞書の使い方 5.ローマ字表 6.Emailの書き方 7.単位と数の表現 8.句読法 9.不規則動詞活用表					合計 54 [57]